	山高等専	門学校	開講年度	令和05年度 (2	2023年度) :	授業科目 🛚 🗆	プログラミン:	グⅡ	
科目基礎					<u> </u>		<u>-</u>		
科目番号		0048			科目区分	専門 / 必修			
村日留亏     0048       授業形態     授業					単位の種別と単位数	履修単位:			
					対象学年	2			
<del>                                       </del>					週時間数 2				
<u>新政规</u> 教科書/教					旭时间数				
数付益/数/ 担当教員	[7]								
	-	利用 祀寸	-,秋山 後輔,「小り 头	そが					
到達目標									
1. 配列を 2. ポイン 3. 文字列	を活用したC ノタを活用し リ処理のCフ	プログラム <sup>。</sup> Jた関数プロ プログラムを	を作成できる. グラムを作成でき <sup>.</sup> 作成できる.	る.					
ルーブリ	Jック								
<del></del>			理想的な到達レ	バルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1					配列を活用したCプログラムを作成できる。				
評価項目2			ログラムを作成		ポインタを活用した関数プログラムを作成できる。		ポインタを活用した関数プログラムを作成できない.		
評価項目3			十分に文字列処   作成することが		文字列処理のCプログることができる.	うムを作成す	文字列処理のC]  ることができな	プログラムを作成 <sup>っ</sup> :い.	
学科の到	」達目標項	頁目との関	係						
	7ポリシー 7ポリシー								
<del></del> 教育方法									
	4 TJ	アルゴリ	 ズム作成からCプC			 /て, コンピュ	- 夕を用いた問題		
既要		し, C言語	吾によるプログラ <i>L</i>	△作成ができる.					
受業の進め	か方・方法	がある. 事前に行 (授業外	う準備学習:前回の 学習・事前)授業の	-	司一時間内で展開する. 予習を行ってから授業に こと と	-	学生の進捗に応	じて変更する場合	
主意点		本科目で 評価が50 追認試験	は, 50点以上の評 )点に満たない者は の結果, 単位の修	価で単位を認定する , 願い出により追認 导が認められた者に	試験を受けことができ あっては,その評価を!	る. 50点とする.			
授業の属	性・履修	多上の区分							
☑ アクテ	ィブラーー								
	<u> 1 フ フ ー</u>	ング	☑ ICT 利用		☑ 遠隔授業対応		□ 実務経験のる	ある教員による授	
	100 —	ング	☑ ICT 利用		☑ 遠隔授業対応		□ 実務経験のる	ある教員による授業	
		ング	☑ ICT 利用		☑ 遠隔授業対応		□ 実務経験の	ある教員による授業	
授業計画						との到達日標	□ 実務経験のる	ある教員による授	
受業計画		週	授業内容		週ご	との到達目標 するデータを3			
受業計画					週ご関連		まとめて扱うこと	ある教員による授	
受業計画		週	授業内容		週ご 関連 用し	するデータを たプログラムを	まとめて扱うこと	たができる配列を活	
受業計画		週 1週	授業内容		週ご 関連 用し 引数	するデータをきたプログラムで が1次元配列の	まとめて扱うこと を作成できる.	とができる配列を活 を作成できる.	
受業計画		週 1週 2週 3週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数		過ご 関連 用し 引数 演習	するデータをる たプログラムな が1次元配列の 課題のプログラ	まとめて扱うこと を作成できる. )関数プログラム:	ができる配列を活 を作成できる. 5.	
受業計画		週 1週 2週 3週 4週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習		週ご 関連 用し 引数 演習 演習	するデータをまたプログラムなが1次元配列の 課題のプログラ 課題のプログラ	まとめて扱うことを作成できる. )関数プログラム: )	ができる配列を活 を作成できる. 5.	
受業計画		週 1週 2週 3週 4週 5週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 演習 2次元配列		週ご 関連 用し 引数 演習 演習 2次:	するデータをまたプログラムなが1次元配列の 課題のプログラ 課題のプログラフログラフログラフログラフログラフログラフログラフログラファット ままま こうかい かいま かいま しゅう こう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	まとめて扱うことを作成できる. )関数プログラム: うムを作成できる うムを作成できる うムを作成できる	ができる配列を活 を作成できる. 5. 5. 作成できる.	
授業計画		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 2次元配列 2次元配列と関数		週ご 関連 用し 引数 演習 2次: 引数	するデータをまたプログラムなが1次元配列の 課題のプログラ 課題のプログラ 課題のプログラー 元配列を活用し が2次元配列の	まとめて扱うことを作成できる.  )関数プログラム・ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 テムを作成できる。 アプログラムを の関数プログラムと	ができる配列を活 を作成できる. 5. 5. 6. 作成できる. を作成できる.	
授業計画		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 2次元配列 2次元配列と関数 演習		週ご 関連 用し 引数 演習 演習 2次 引数 演習	するデータをまたプログラムなが1次元配列の が1次元配列の 課題のプログラ 課題のプログラー 記見のプログラー 元配列を活用し が2次元配列の 課題のプログラ	まとめて扱うことを作成できる. )関数プログラム: うムを作成できる うムを作成できる うムを作成できる	ができる配列を活 を作成できる. 5. 5. 6. 作成できる. を作成できる.	
		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 2次元配列 2次元配列と関数 演習		週ご 関連 用し 引数 演習 (する) 引数 演習 (する) 可数 (する)	するデータをきたプログラム2が1次元配列の課題のプログラスを 課題のプログラスを 記を 活用しが2次元配列の課題のプログラスを おりました は ままり から できます は いっぱい は いっぱいまま いっぱい は いまり いまま いまま いまま いままままままままままままままままままま	まとめて扱うことを作成できる. )関数プログラム: ラムを作成できる ラムを作成できる ラムを作成できる ,たプログラムを )関数プログラム: ラムを作成できる	ができる配列を活 を作成できる. 5. 5. 作成できる. を作成できる. 5.	
		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 2次元配列 2次元配列と関数 演習		週ご 関連 用し 引数 演習 漢習 引数 演習 中間 メモ	するデータをまたプログラム。 が1次元配列の 課題のプログラ 課題のプログラー 記別を活用し が2次元配列の 課題のプログラ 課題のプログラー 試験 リとアドレス,	まとめて扱うことを作成できる. )関数プログラム: ラムを作成できる ラムを作成できる ラムを作成できる ,たプログラムを )関数プログラム: ラムを作成できる	たができる配列を活 を作成できる。 5. 5. 6. 作成できる。 を作成できる。 5.	
		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 2次元配列 2次元配列と関数 演習		週ご 関連 用し 引数 演習 2次; 引数 演習 中間 メモ	するデータをまたプログラム2が1次元配列の 課題のプログラス 課題のプログラス 課題のプログラスを活用しが2次元配列の 課題のプログラス 試験 リとアドレス, インタ変数の	まとめて扱うことを作成できる。 )関数プログラム・ ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 たプログラムを・ )関数プログラム・ ラムを作成できる。 変数宣言とメモ	たができる配列を活 を作成できる。 5. 5. 6. 作成できる。 を作成できる。 5.	
		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 2次元配列 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ		週ご 関連 用し 引数 演習 2次: 引数 再間 メモ 、ボ	するデータをまたプログラム。が1次元配列の課題のプログラスを活用した。	まとめて扱うことを作成できる. )関数プログラム: ラムを作成できる ラムを作成できる ラムを作成できる ったプログラムを うは数プログラム: ラムを作成できる 変数宣言とメモ 更い方を説明できる	ができる配列を活 を作成できる。 5. 6. 6. 作成できる。 を作成できる。 5.	
	3rdQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 2次元配列と関数 2次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタと配列		週ご 関連 用し 引数 演習 2次: 引数 演習 中間 メボ 配列 番地	するデータをまたプログラム。が1次元配列の課題のプログラスを活用した。	まとめて扱うことを作成できる。 )関数プログラム・ ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 たプログラムを )関数プログラム・ ラムを作成できる。 変数宣言とメモ 変数宣言とメモ 東い方を説明できる。 コグラムを作成で	ができる配列を活 を作成できる。 5. 6. 6. 作成できる。 を作成できる。 5.	
		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 実習 2次元配列 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタと配列 関数(番地渡し)		週ご 関連 引数 演習 2次 引数 再間 メモポ 配列 番地 文字	するデータをまたプログラム。 が1次元配列の 課題のプログラス 課題のプログラス 記別を活用しが2次元配列の 課題のプログラス 記以をアデレス はいたアク変数を表す。 では、アポートの表すである。 では、アスのは、アポートのでは、アスのは、アポートのでは、アスのは、アスのは、アスのは、アスのは、アスのは、アスのは、アスのは、アスの	まとめて扱うことを作成できる。 )関数プログラム・ ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 たプログラムを )関数プログラム・ ラムを作成できる。 変数宣言とメモ 変数宣言とメモ 東い方を説明できる。 コグラムを作成で	だができる配列を活 を作成できる。 6. 6. 6. 6. 6. 6. 7. 7. 8. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	
	3rdQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 2次元配列 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタ ポインタと配列 関数(番地渡し) 文字列処理		週ご 関連し 引数 演習 2次 引数 調理 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	するデータをきたプログラムへが1次元配列の課題のプログラー・記列を活用しが2次元配列の課題のプログラー・記録をリインタ変数の代のポインタ表記をしいましの関数プログラー・ファクを表記をしていました。現しの表現をきまりました。 現題のプログラスを表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を	まとめて扱うことを作成できる。 )関数プログラム・ うムを作成できる。 うムを作成できる。 たプログラムを )関数プログラム・ うムを作成できる。 変数宣言とメモ 更い方を説明できる。 現を説明できる。 コグラムを作成できる。	たができる配列を活 を作成できる。 5. 6. 6. 作成できる。 を作成できる。 5. Eリアドレスの関係 そる。	
	3rdQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 変別 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般		週ご 関連し 引数 演習 2次 引数 調理 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	するデータをきたプログラムへが1次元配列の課題のプログラスを活用しが2次元配列の課題のプログラスを活用しが2次元配列の課題のプログラスをリンク変数がリインタ変数がインタ表現しの関数でを表現しの関数でを認める表現である。	まとめて扱うことを作成できる。 )関数プログラム・ ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 たプログラムを )関数プログラム・ ラムを作成できる。 変数宣言とメモき、 更い方を説明できる。 現を説明できる。 こが明できる。 こが明できる。	たができる配列を活 を作成できる。 5. 6. 6. 作成できる。 を作成できる。 5. Eリアドレスの関係 そる。	
	3rdQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 2次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタ 関数(番地渡し) 文字列処理 演習	授業アンケート等	週ご 関連し 引数 演演 2次 引数 同 同 の 引数 同 同 の の の の の の の の の の の の の の の の の	するデータをまたプログラムペが1次元配列の 課題のプログラスを活題のプログラスを活用しが2次元配列の 課題のプログラスを表現したアドレスの はとアドレスの はとアドンタを表現とのポイン関数プログラスを表現しの関数プログラスを表現して、現題のプログラス 課題のプログラス 誤題のプログラス はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	まとめて扱うことを作成できる。 )関数プログラム・ うムを作成できる。 うムを作成できる。 たプログラムを )関数プログラム・ うムを作成できる。 変数宣言とメモ 更い方を説明できる。 現を説明できる。 辺グラムを作成できる。 説明できる。 ラムを作成できる。	だができる配列を活 を作成できる。 6. 6. 6. 6. 6. 6. 7. 7. 8. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	
<b></b>	3rdQ 4thQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 2次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタ ポインタと配列 関数(番地渡し) 文字列処理 演習 調習 調調 期末試験 答案返却,解説,:		週ご 関連し 引数 演演 2次 引数 同 同 の 引数 同 同 の の の の の の の の の の の の の の の の の	するデータをまたプログラムペが1次元配列の 課題のプログラスを活題のプログラスを活用しが2次元配列の 課題のプログラスを表現したアドレスの はとアドレスの はとアドンタを表現とのポイン関数プログラスを表現しの関数プログラスを表現して、現題のプログラス 課題のプログラス 誤題のプログラス はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	まとめて扱うことを作成できる。 )関数プログラム・ ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 たプログラムを )関数プログラム・ ラムを作成できる。 変数宣言とメモき、 更い方を説明できる。 現を説明できる。 こが明できる。 こが明できる。	だができる配列を活 を作成できる。 6. 6. 6. 6. 6. 6. 7. 7. 8. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	
後期	3rdQ 4thQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタと配列 関数(番地渡し)) 文字列処理 演習 期末試験 答案返却,解説, 学習内容と到達	<b>全目標</b>	週で連し 別選 関用 別数 選 演選 2次 別数 習 演習 2次 別数 習 間 モボ 別 配 子 図 選 選 選 期 末 答 第 2 第 3 第 3 第 3 第 4 第 4 第 4 第 4 第 4 第 4 第 4	するデータをまたプログラムペが1次元配列の 課題のプログラスを活題のプログラスを活用しが2次元配列の 課題のプログラスを表現したアドレスの はとアドレスの はとアドンタを表現とのポイン関数プログラスを表現しの関数プログラスを表現して、現題のプログラス 課題のプログラス 誤題のプログラス はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	まとめて扱うことを作成できる。 )関数プログラム・ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 たプログラムを がプログラムを が関数プログラム・ラムを作成できる。 変数宣言ととできる。 変数宣説明できる。 現を説明を作成できる。 はののできる。 のがのできる。 のがのできる。 のがのできる。 のがのできる。 のがのできる。 のがのできる。 のがのできる。 のがのできる。 のがのできる。	たができる配列を活 を作成できる。 5. 6. 6. 7. 6. 7. 7. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	
後期	3rdQ 4thQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 演習 2次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタ ポインタと配列 関数(番地渡し) 文字列処理 演習 調習 調調 期末試験 答案返却,解説,:	全目標 学習内容の到達目標	週で連り 関用 の	するデータを表示 クラム が1次元配列の 課題のプログラ 課題のプログラ 元配列を活用しが2次のプログラ 課題 シア・アクタンタ 表表 リインポーの関数等を 記 課題のプログラ 課題のプログラ 課題のプログラ 課題 いまり アドレン がられる いまり かった いきない いきない いきない いきない いきない いきない いきない いきな	まとめて扱うことを作成できる。 対数プログラム・ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 たプログラム・ラムを作成できる。 たプログラム・ラムを作成できる。 変数宣説明できる。 変数を記明できる。 変い方を明できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	だができる配列を活 を作成できる。 6. 6. 6. 6. 6. 6. 7. 7. 8. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	
後期	3rdQ 4thQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタと配列 関数(番地渡し)) 文字列処理 演習 期末試験 答案返却,解説, 学習内容と到達	全目標 学習内容の到達目標	週で連し 別選 関用 別数 選 演選 2次 別数 習 演習 2次 別数 習 間 モボ 別 配 子 図 選 選 選 期 末 答 第 2 第 3 第 3 第 3 第 4 第 4 第 4 第 4 第 4 第 4 第 4	するデータを表示 クラム が1次元配列の 課題のプログラ 課題のプログラ 元配列を活用しが2次のプログラ 課題 シア・アクタンタ 表表 リインポーの関数等を 記 課題のプログラ 課題のプログラ 課題のプログラ 課題 いまり アドレン がられる いまり かった いきない いきない いきない いきない いきない いきない いきない いきな	まとめて扱うことを作成できる。 )関数プログラム。 うムを作成できる。 うムを作成できる。 たプログラムをうり 関数プログラム。 うムを作成できる。 変数宣言説明できる。 変数方を明できる。 でき。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で。	たができる配列を活 を作成できる。 5. 6. 6. 7. 6. 7. 7. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	
後期	3rdQ 4thQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタと配列 関数(番地渡し)) 文字列処理 演習 期末試験 答案返却,解説, 学習内容と到達	全目標 学習内容の到達目様 プログラミング言詞	週で 関連 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 国 変 変 変 弱 数 習 関 中 間 モ ボ 列 配 列 番 本 字 習 演 習 期 末 答 案 票 書は計算モデルによって	するデータを表示 クラム が1次元配列の 課題のプログラ 課題のプログラ 元配列を活用しが2次のプログラ 課題 シア・アクタンタ 表表 リインポーの関数等を 記 課題のプログラ 課題のプログラ 課題のプログラ 課題 いまり アドレン がられる いまり かった いきない いきない いきない いきない いきない いきない いきない いきな	まとめて扱うことを作成できる。 対数プログラム・ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 たプログラム・ラムを作成できる。 たプログラム・ラムを作成できる。 変数宣説明できる。 変数を記明できる。 変い方を明できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	たができる配列を活 を作成できる。 5. 6. 6. 7. 6. 7. 7. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	
後期	3rdQ 4thQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Fユラムの	授業内容 1次元配列 1次元配列 1次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタと配列 関数(番地渡し)) 文字列処理 演習 期末試験 答案返却,解説, 学習内容	全目標 学習内容の到達目様 プログラミング言語できる。 主要な計算モデルな	週ご 関用し 引数 演習 之次: 引数習 中間モボ, 配列 番文 演習 演選 期末 答案	するデータを表示の かかり できない かり できない いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっ	まとめて扱うことを作成できる。 対数プログラム・ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 要数方を明さる。 要い方・サンを作成できる。 ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 ラムを作成できる。	たができる配列を活 を作成できる。 5. 6. 6. 7. 6. 7. 7. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	
を期 そデルニ 分類	3rdQ 4thQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Fユラムの	授業内容 1次元配列 1次元配列 1次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタと配列 関数(番地渡し)) 文字列処理 演習 期末試験 答案返却,解説, 学習内容	全目標 学習内容の到達目様 プログラミング言語できる。 主要な計算モデルな	週ご 関連 用 別 週	するデータを表示の かかり できない かり できない アイド・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・	まとめて扱うことを作成できる。 )関数プログラムを う人を作成できる。 う人を作成できる。 たプログラムを )関数プログラムを )関数プログラムを )関数を作成できる。 、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で。 で。 できる。 でき。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき。 でき。 でき。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で	たができる配列を活 を作成できる。 5. 6. 6. 7. 6. 7. 7. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	
を期 デル <u>ニ</u> 分類	3rdQ 4thQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Fユラムの	授業内容 1次元配列 1次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタと配列 関数の関数 関数 中間試験 ポインタを配列 関数・関数 対象 が、アインのの 関数 対象 が、アインのの 関数 対象 が、アインのの 関数 対象 が、アインの は、アインの に、アインの	全目標 学習内容の到達目様 プログラミング言語できる。 主要な計算モデルを要求仕様に従って、 グラムを設計できる。 要求仕様に従って、	週で連用の数 演習 (表)	するデータをまたプログラム/ が1次元配列の 課題のプログラー 課題のプログラー 元配列を活用しが2次のプログラー 課題のアンログラー 課題のアンログラー 課題をアンタインのである。 アンタイン関数等を表現のの表現プログラー 課題のプログラー 課題のプログラー 課題のプログラー 課題のプログラー 課題のプログラー 課題ののよりの表現の表現のである。 にて効率を考慮して、またのである。	まとめて扱うことを作成できる。 )関数プログラム・ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 ラムを作成できる。 たプログラム・ラムを作成できる。 たプログラム・ラスを作成できる。 変数宣説明さる。 現を説明となる。 現ができる。 ラムを作成できる。 受業アンケート等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	たができる配列を活 を作成できる。 5. 6. 6. 7. 6. 7. 7. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	
授業計画で対象を対しています。	3rdQ 4thQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Fユラムの	授業内容 1次元配列 1次元配列 1次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 2次元配列と関数 演習 中間試験 ポインタ ポインタと配列 関数(番地渡し)) 文字列処理 演習 期末試験 答案返却,解説, 学習内容	を	週で連用の数 演習 (表)	するデータを表示 クラム (	まとめて扱うことを作成できる。 )関数を作成でできる。 うしたプログラムを うしたプログラムを うしたプログラムを うしたプログラムを できる。 で。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で	たができる配列を活 を作成できる。 5. 6. 6. 7. 6. 7. 7. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	

		1	要求仕様に従って、標準的な手法により実行効率を考慮したプロ グラムを実装できる。								
評価割合											
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト・課題	合計				
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100				
基礎的能力	40	0	0	0	0	10	50				
専門的能力	40	0	0	0	0	10	50				
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0				